

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成25年9月9日 第76号
浜田市農林業支援センター

はじめに

異常気象がとどまる気配がありません。7月末に津和野・萩を中心にゲリラ的集中豪雨が襲ったのに引続き、秋の収穫作業を間近に控えた8月23・24日、記録的な豪雨が浜田・江津を襲いました。家屋の崩壊や床上・床下浸水、道路や河川を始めとした公共施設、用水路や排水路の農業用施設、そして農地においても畦畔の崩落や土砂流入等大きな被害が生じました。被害を受けられました方々にはお見舞いを申し上げますとともに一刻も早い復興・復旧をご祈念申し上げます。
(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当：稲田・中田)

いなだ なかた

新たな農業研修生、決定！

8月30日、浜田ふるさと農業研修生審査委員会を開催しました。去る8月3～4日に開催しました現地視察会を開催したところ、参加された方3名から研修希望の申請書の提出がありました。

この審査会では、8月26日からの短期研修の様子聞き取りや、今後の農業についての思いなどを語っていただきました。中でも、自然を相手にする農業への厳しさや、ご近所づきあいが重要となる地域生活などへの対応について質問があり、希望者からは頑張りたいと意気込みを話されました。結果は3名とも合格となり、10月から研修開始となります。

今後は、研修を行いながら就農に向けた検討を重ねていくこととしています。



● 認定農業者支援チーム (担当：中田・稲田)

なかた いなだ

中間年調査を実施しています



認定農業者制度とは、意欲ある農業者が作成した「農業経営改善計画」を、一定の基準のもと市町村が認定し、その達成に向けた取組を関係機関・団体が支援する仕組みですが、当支援センターでは、5年間の認定期間の中間年である3年目に、目標達成状況の聞き取りを実施しています。

今年度は、平成22年度に認定を受けられた10経営体（農業者）へ、主に市・県の担当者が訪問し、現況を伺いながら、それぞれの成果や課題を共有することで、より効果的な支援に繋がっていきたいと考えております。今年度対象となる皆様に調査へのご協力をお願いします。

(※すでに、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。)

■ 集落営農組織支援チーム (担当：田原・森脇)

たばら もりわき

やき米づくり体験・試食会

9月1日、弥栄町小坂の集落営農組織「小坂農業生産組合」が、やき米づくり体験・試食イベントを開催しました。当日は弥栄町在住の方以外にも、島根県立大学の学生さんなど市内外からたくさんの参加者があり、雨天ではありましたがにぎやかなイベントとなりました。

やき米とは、水に浸した粳を煎り、杵でついてみ殻を落とした食べ物で、お茶漬けなどにしていただきます。当日はもち米を使用し、これらの一連の作業を交代しながら体験させていただきました。釜でもち米を煎る作業では、もうもうと立ち昇る煙にむせる方もおられましたが、時折漂ってくるこぼしい香りを楽しみながら、和気あいあいと貴重な体験をすることができました。

作業体験の後には地元産の米や野菜をふんだんに使ったおむすびや焼きそば、できたてのやき米のお茶漬けがふるまわれました。ひと働きした後の食事はどれも大変おいしく、小坂集落の良さを体感することができました。



2. 「浜田市いちじく生産組合」目合せ会開催



8月20日、浜田市いちじく生産組合の平成25年産目合わせ会が開催されました。

今年は、春先から天候に恵まれ、例年よりも出荷時期が早まることが予想されましたが、夏場以降、雨が降らない日が続き、結果として、例年とほぼ同時期の出荷となりました。全体的な実の特徴としては、「色付きは劣るが、甘みは乗っている」ということでした。

組合員の皆さんは、今年とれたいちじくを手に取り、出荷規格等の説明を熱心に聞いておられました。

9月中旬頃には、収穫のピークを迎えます。当支援センターでは、引き続き関係機関と一体となって、いちじくの出産振興を支援していきます。

3. 就農相談会ツアーが開催されました



8月31日～9月2日にかけて、島根県主催の『就農相談会ツアー』が開催されました。これは、島根県の各市町村が一同に介し、関東方面や関西方面の希望者を対象とした就農相談や事業説明などを行うためのもので、当日は25名の参加がありました。

初日は島根県立農林大学校を会場に相談会が行われ、予定時間いっぱいまで各市町村ブースを訪れ話を聞いておられました。

2日目、3日目は、希望する市町村への現地視察を行いました。浜田市へは4名の方が参加され、各自地区で実践されている農業の現状を見たり、実践者からお話を聞いたりしました。その中で「やろうとする気持ちと、仲間作りが大切」「地域にいかにか溶け込めるか」など実体験に基づいた貴重なお話をいただき、参加者は熱心に聞き入っていました。

これから浜田市での就農を希望される方については、研修制度等のご案内をしていきます。



4. 第13回「いわみ中央種畜共進会」

8月23日に、第13回いわみ中央種畜共進会が開催されました。今回の共進会は、平成23年8月31日以降平成24年9月1日までに産まれた若雌、成雌が対象となっており、当日は6頭の出品がありました。

出品されたどの牛も状態がよく、愛情込めて飼育されている様子が伺えました。

特選賞首席は、弥栄町の認定農業者 佐々木祥二さん出品のはるひめ号となりました。また、優秀賞首席に入賞された旭町 藤本堅三さんのさくらひめふく号と共に、10月26日（土）松江市宍道町



で開催される島根県共進会に出品されます。



5. 安全確認を心がけ、農作業事故を防止しましょう

9月1日から10月31日までの2か月間は、秋の農作業安全確認運動期間です。

このところの豪雨の影響で稲刈りの予定が大幅に狂い、これから忙しくなることと思います。体調と機械の管理、周囲の確認をしっかりと行い、事故・怪我のないよう、気をつけてください。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様に配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp